

福井市東山健康運動公園

所在地	福井市寮町50-5
所管課等	建設部 公園課

1 指定管理者の概要

名称	公益社団法人 福井市ふれあい公社	代表者	荒木 一男
所在地	福井市日之出4丁目3-12		

2 指定管理期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日（第4期目）

3 施設の利用等の状況

	(H17年度) 導入前年度	1期目平均 (H18～22)	2期目平均 (H23～27)	3期目平均 (H28～R2)	4期目 (R3年度)	4期目 (R4年度)	4期目 (R5年度)	4期目 (R6年度)
利用者数 (人)	82,796	121,587	137,394	125,234	101,920	104,069	115,791	122,278
前年度比 (人)		38,791	15,807	▲ 12,160	▲ 35,474	2,149	11,722	6,487
前年度比 (%)		46.9	13.0	▲ 8.9	▲ 25.8	2.1	11.3	5.6
利用料金 (千円)		49,657	56,894	52,364	46,512	49,050	54,963	57,137
前年度比 (千円)		49,657	7,237	▲ 4,530	▲ 10,382	2,538	5,913	2,174
前年度比 (±%)		0.0	14.6	▲ 8.0	▲ 18.2	5.5	12.1	4.0

4 納付金・指定管理料の状況

第4期目	R3年度 導入16年目	R4年度 導入17年目	R5年度 導入18年目	R6年度 導入19年目	R7年度 導入20年目
指定管理料	154,428 千円	154,428 千円	154,428 千円	154,428 千円	

【参考】

第1期目	H18年度 導入1年目	H19年度 導入2年目	H20年度 導入3年目	H21年度 導入4年目	H22年度 導入5年目
指定管理料	163,400 千円	163,400 千円	163,400 千円	163,400 千円	163,400 千円
第2期目	H23年度 導入6年目	H24年度 導入7年目	H25年度 導入8年目	H26年度 導入9年目	H27年度 導入10年目
指定管理料	158,292 千円	157,879 千円	157,467 千円	161,543 千円	161,119 千円
第3期目	H28年度 導入11年目	H29年度 導入12年目	H30年度 導入13年目	H31年度 導入14年目	H32年度 導入15年目
指定管理料	154,376 千円	154,385 千円	154,385 千円	154,385 千円	154,385 千円

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
利用者数 年間 140,000 人以上	令和 6 年度 年間利用者数 122,278 人（達成率 87.3%）
健康づくりの情報を市民に周知し、意識啓発する事業を行う。	- 健康づくり促進事業、生きがいくつり促進事業の実施。 計 53 講座 1,842 回 35,591 人 - 指定運動療法事業の実施 利用者数 16 人 延べ利用回数 565 回 - ホームページ、QR コードの利用、館内での掲示及び公共施設等へのチラシ設置等による情報発信。

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

（施設・設備に関すること）

内容：更衣室のシャワールームで、座ってシャワーできるように対応してほしい。

対応：シャワールームに座高の高い椅子を設置して足が不自由な方も使いやすいように対応した。

内容：男子クアハウスの体重計がアナログなので、デジタルにしてほしい。

対応：男子・女子ともにクアハウスにデジタル体重計を設置した。

（職員の対応に関すること）

内容：コースの貸し切り時間帯の表記がわかりにくいことを伝えると、横柄な対応をされた。

対応：利用者に不快な思いをさせないような対応をするよう指導した。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
情報発信	- ホームページを随時更新し、講座情報等の発信に努めた。 - ウォータースライダーや運動療法のチラシを他の公共施設、公社の管理する施設、近隣の店舗等に設置したほか、広報ふくい、フリーペーパー等で情報発信を行った。
講座内容の充実	受講者へのアンケートをもとに要望の多い体幹系、有酸素及びコンディショニング改善系のレッスンや受講を増やし、利用者がいつでも気軽に楽しく参加できるようカリキュラムを立て、好評を得た。
利用促進	- 日常的に運動を行うことが定着し、疾病が改善傾向にある運動療法実施者にはカウンセリングを行い、一般利用に向けた運動プログラムの見直しを行った。 - 定期的にカウンセリングを行い、運動継続につながる指導や声掛けを行った。 - 体組成計（インボディ）による数値測定診断等を行い、結果に基づきプログラムを作成した。その結果、定期的な運動の導入や習慣化・継続につなげることができた。 - 生活習慣病や整形外科的疾患に関する定期的な情報提供と、Q&A 式にコラムを作成することで、利用者の興味を引き付け、健康づくりの意識向上へと繋げた。 - プール更衣室やクアハウスで生じる床の水濡れが軽減するよう、点検や清掃を頻繁に行い、安全で衛生的な環境を提供した。 - 施設利用者対象に施設全般についてのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握することに努めた。
地域のスポーツ推進・人材育成支援	50 メートルプールを学生や障がい者団体の練習の場として提供した。

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
清掃業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
保安警備業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
備品管理	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
小規模修繕	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）

9 指定管理者のコメント

今年度の利用人数は、122,278人で、前年度115,791人に対し、6,487人（5.6%増）増加した。コロナ禍以前の元年度の利用者129,203人に対しては、6,925人減（5.3%減）となり、要求基準である140,000人に対する達成率は、87.3%と増加傾向にある。

利用者の内訳は、元年度の大人、小人、高齢者の利用人数が、それぞれ64,339人、7,470人、45,583人であるのに対し、令和6年度の利用人数は51,719人（19.6%減）、5,936人（20.5%減）、54,423人（19.4%増）で、高齢者の利用人数はコロナ禍以前より増加している。しかし、大人と小人の利用人数は、増加はしているものの、コロナ禍以前にはなかなか回復しない状況である。

自主事業については利用者へのアンケートをもとに要望の多い体幹系、有酸素運動及びコンディショニング改善系のレッスンや講座を増設したこともあり、講座受講についても順調に申し込みがされた。また、計画していたレッスン・講座の他に職員による有料・無料のレッスンを追加開催し、利用者増に努めた。加えて、今年度は、講座の申込方法や受講者からの提出書類の見直しを行い、経費削減を図った。

運動療法については、継続的な利用があり年々利用回数が増加している。また、運動療法終了者の中には運動習慣が身に付いた方もおり、引続き定期的な利用に繋がっている。

ウォータースライダーについては、小中学校の夏季休業期間の37日間の運行を行った。今年度も記録的な猛暑が続いたため、利用者の増加を期待したが、前年度の8,167人に対し今年度は7,622人と545人減（6.7%減）となった。なお、監視体制については、例年通り夏季限定の応援員を雇用し万全な体制で安全な運行を行った。熱中症予防対策として、ミストシャワーの設置、熱中症指数モニターの活用、こまめな水分補給や休憩を促す館内放送での啓発等を行った。プール水温の管理は、濾過機の逆洗浄での市水補給で上昇を抑えた。

地域との連携では、岡保地区自治会型デイホーム及び岡保老人クラブ連合会に出前講座として職員（健康運動指導士または健康運動実践指導者）を派遣し、健康指導、体操指導を行った。また、6～8月には、昨年に引き続き岡保地区の東山観光協会による写真展をラウンジにおいて開催し、地域の福祉や文化事業に協力した。

施設・設備の管理については、総合点検を実施し老朽化や異常等の早期発見や職員間の情報共有を行い、安全・安心を第一に管理運営に努めた。しかし、ジェット浴槽の水質検査（2/10）において女子ジェット浴槽から基準値を僅かに上回るレジオネラ属菌が検出された。市保健所に連絡のうえ、すぐにジェット浴槽を男女ともに使用停止とし、利用者には、館内掲示やホームページの掲載等で周知した。専門業者によるジェット浴槽配管洗浄及び消毒を行い、浴槽水の水質再検査で異常がないことを確認し、ジェット浴槽を再開（3/18）した。利用者からの感染の報告はなかった。

福井市新ごみ処理施設建設に伴う芝生広場整備は、引き続き市と連携・協力し、降雨時の調整池管理等を行った。

新年度も引き続き、市民の健康づくりの拠点として、健康増進のための運動をより一層安全かつ適

切に提供できる施設を目指し、アンケート等で利用者の意見を取り入れた利用者サービスを重視した良心的かつ効率的な施設運営に努めていく。

10 所管所属の所見

令和 6 年度は前年度の利用者数を上回り、年間 122,278 人が来館した。要求基準には達しないものの、東山健康運動公園独自のレッスンや講座は利用料金の合計が過去最高の 9,051,900 円となった。

これは、利用者へのアンケートをもとに要望の多いレッスンや講座を増設するといった努力によるものであり、評価できると考える。

また、アンケートの満足度の結果を見ても、職員の指導方法や丁寧な対応、講座が充実していることについて、利用者から高く評価されていることから、日頃から丁寧な対応を心掛けていることが伺える。

課題としては、若者の利用者数が少ないことが挙げられる。SNS を活用した情報発信の実施や、若者向けの講座の充実等を検討していただきたい。

引き続き、適正な施設の維持管理及び利用者が安全・安心に利用できる施設運営を期待する。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由 (1)管理項目 6月25確認 (提出書類・施設据付帳簿)
		指定管理者	所管所属		
(1)管理運営 (ア)維持管理業務	保守管理 ・清掃、法定点検の確実な実施	3	3	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	
	保安業務 ・保安警備の実施状況	3	3	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	3	3	・現地調査で台帳と照合等	
	(イ)運営業務 利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か 受付・承認・利用料金の収受と管理 ・一連の事務の適正な実施	3	3	・業務日報等の確認等 ・関係書類や現地調査により確認等	
(ウ)報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	3	3	・関係書類の確認等	
(2)サービスの内容 (ア)利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	3	3	・関係書類の確認等	
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	4	4	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	岡保地区の自治会型デイホームに職員を派遣する他、行事に協力している。
	(イ)サービス向上の取組み 利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	5	5	・関係書類の確認等	アンケート調査をし、施設の運営に活かしている。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	利用者の要望も取り入れた講座を開催している。
(ウ)要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	3	3	・事業報告書の確認等	目標には達しなかったが、前年度と比べて利用者が増加している。
(エ)応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	5	5	・事業報告書の確認等	提案事項を計画的に実施している。
(3)安定性 (ア)管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	3	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	職員の資質向上の研修を定期的に実施している。
	(イ)法令等の遵守 個人情報の管理状況 ・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	個人情報保護に関するマニュアルを整備している。
(ウ)安全・衛生対策	安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	5	5	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	安全な運営のために事故の予防や AED の適切な管理をしている。
(エ)危機管理対策・緊急時対策	緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	危機管理マニュアルや緊急時の連絡体制を整備している。
(4)収支状況 (ア)経理処理状況	一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	3	3	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	
	(イ)経費削減の取組状況 ・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
	合計	74	73		
	割合(合計/100点満点)	74%	73%		

★※評価で3点以外の評価をする場合((1)管理運営含む)は、採点理由に理由・根拠を必ず記入すること。

【参考】全期モニタリング採点基準表(指定管理者及び所管所属)

業務の結果	点数	備考
未実施や実施の遅延がある	1～2点	未実施や遅延の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること
標準(協定等に規定されていることを最低限満たしている。)	3点	
事業の実施により、よりすぐれた効果が現れている	4～5点	効果の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること

*福井市指定管理者事務処理マニュアル抜粋